



2012年9月11日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

8月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

阿部 慎之助 (読売ジャイアンツ) 初受賞

阿部選手は、8月19日(日)の対広島18回戦(東京ドーム)、3対3の同点で迎えた9回裏、この回の先頭打者として打席に入ると、相手・守護神が2-2から投じた5球目を強振。打球は勝利を願うファンで埋まる、右中間スタンドに突き刺さるサヨナラ本塁打となりました。

キャプテン、そして4番であるチームの大黒柱が放った一発が、広島3連戦を3連勝に導き、貯金を今季最多の30とし(当時)、優勝マジック点灯を加速させる、今季セ・リーグ5本目のサヨナラ本塁打となりました。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

柳田 悠岐 (福岡ソフトバンクホークス) 初受賞

柳田選手は、8月16日(木)の対千葉ロッテ18回戦(ヤフードーム)、2対2の同点で迎えた10回裏、先頭打者として打席に立ち、1ボール2ストライクから、ライトスタンドへサヨナラ本塁打を放ちました。この本塁打は、2年目の柳田選手にとってプロ入り第3号にして初のサヨナラ本塁打となりました。柳田選手は前日(15日)の同カードでも先制本塁打を放ち、チームの勝利に貢献。期待のスラッガーの連日の本塁打でチームは勢いに乗り、15日から22日まで7連勝、首位から1.5ゲーム差に迫り、優勝争いに加わる契機となりました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として今シーズン制定されました。「最後の一球まで何が起こるか分からない」と言われるプロ野球の象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」を掲げているスカパー！ならではの賞です。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞」を制定しています。

以上